土砂災害

大雨や地震により地盤がゆるむと土砂災害が発生するおそれが高まります。危険箇所や前兆現象を確認し、危険を察知したら速やかに避難しましょう。

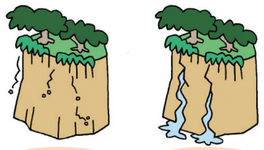
土砂災害の種類と前兆現象

土砂災害が発生するときには、何らかの前兆現象が現れることがあります。以下のような前兆現象に気づいたら、避難情報の発令を待たずに、速やかに安全な場所に避難することが大切です。

がけ崩れ

地面にしみ込んだ雨水により、弱くなった急ながけ地や斜面が突然崩れ落ちる現象です。

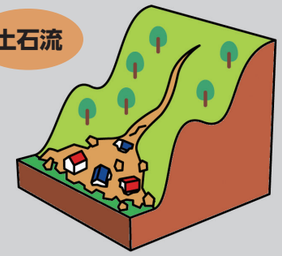
前兆現象 こんなときは要注意!



がけから小石が落ちてくる

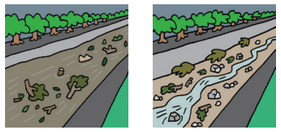
斜面から水が湧き出る

土石流



山から崩れた土や石が、水と一緒になって強い勢いで流れ下る現象です。

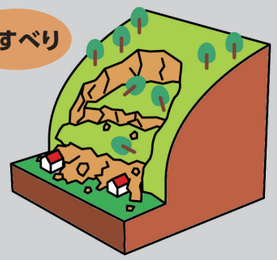
前兆現象 こんなときは要注意!



川の水に異常な濁りが生じる

河川の水位が急に減少

地すべり



やや傾斜の緩い斜面が、広い範囲にわたってかたまりのまま動く現象です。

前兆現象 こんなときは要注意!

山鳴りが聞こえる

がけにひび割れが発生している

警戒区域の指定

※「土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律」

土砂災害から市民の生命を守るため、「土砂災害防止法※」に基づき、警戒区域が指定されています。

土砂災害警戒区域（イエローゾーン）

土砂災害が発生した場合、生命または身体に危害が生じるおそれがある区域

土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）

土砂災害が発生した場合、建築物に損壊が生じ、生命または身体に著しい危害が生じるおそれがある区域

土砂災害警戒情報に注意!

土砂災害警戒情報は、大雨による土砂災害発生の危険度が高まったときに、仙台市が避難情報を発令する際の判断や住民の自主避難の参考となるよう、気象庁と宮城県が共同で発表する防災情報です。
気象庁や宮城県のホームページで確認できるほか、テレビやラジオの気象情報でも確認できます。

気象庁ホームページ　宮城県ホームページ

土砂災害からの避難方法

原則として区域外へ避難

■避難情報により示される指定避難所等や、土砂災害警戒区域等の外の安全な場所へ避難しましょう。
■がけの上に自宅がある場合などは、倒壊のおそれがあるため、区域外へ急いで避難しましょう。

区域外への避難が難しい場合は

■近くの頑丈な建物の2階以上に緊急避難しましょう。
■がけから離れた2階の部屋など、家の中でより安全な場所に避難しましょう。

宮城県では、土砂災害警戒区域等指定のための「土砂災害調査予定箇所」を公表しています。
詳細については宮城県ホームページをご確認ください。

宮城県ホームページ

避難情報

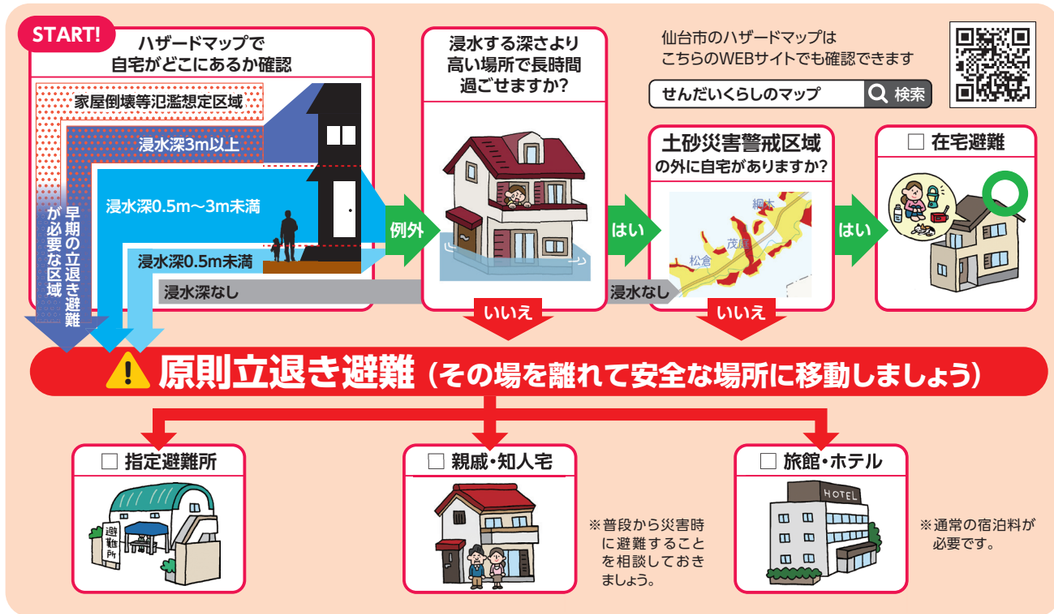
「避難」とは「難」を「避」けることです。警戒レベルや仙台市から発令される避難情報に十分注意し、適切な避難行動を心がけましょう。

警戒レベルと避難情報

※市が発令する避難情報は、洪水浸水想定区域や、土砂災害のおそれのある区域等を含む町丁目単位で発令します。
※状況が急変することもあるため、避難情報等は必ずしも警戒レベル1から5の順番に発令されるとは限りません。

危険度 ↓ 高

気象情報等（気象庁が発表）	警戒レベル	避難情報等	取るべき行動
	レベル1	早期注意情報（気象庁が発表） 今後気象状況悪化のおそれ	今後の気象情報を確認 最新の防災気象情報等に留意するなど、災害への心構えを高めましょう。
警戒レベル2相当情報 大雨・洪水注意報 氾濫注意情報	レベル2	大雨・洪水注意報（気象庁が発表） 気象状況悪化	自分の避難行動を確認 ハザードマップ等により、災害が想定される区域や避難先、避難経路を確認しましょう。
警戒レベル3相当情報 大雨警報 洪水警報 氾濫警戒情報	レベル3	高齢者等避難（仙台市が発令） 災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難 高齢者等以外の方も、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難を行うなどしてください。 ※高齢者等…避難に時間を要する人（高齢の方、障害のある方、妊産婦・乳幼児等）とその支援者
警戒レベル4相当情報 土砂災害警戒情報 氾濫危険情報	レベル4	避難指示（仙台市が発令） 災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難 過去の重大な災害の発生時に匹敵する状況です。この段階までに避難を完了しておきましょう。
警戒レベル5相当情報 大雨特別警報 氾濫発生情報	レベル5	緊急安全確保（仙台市が発令） 災害発生または切迫	命の危険 直ちに安全確保! 何らかの災害がすでに発生している可能性が極めて高い状況となっています。命の危険が迫っているため、直ちに身の安全を確保してください。

警戒レベル4までに必ず避難!

避難行動判定フロー（洪水・土砂災害時）